



プレスリリース PRESS RELEASE

2017年 11月 20日

報道機関 各位

潘逸舟中高生向けトークイベントの開催 (国際芸術センター青森秋の展覧会関連イベント)

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）では現在、秋のアーティスト・イン・レジデンス 2017 展覧会「この現実のむこうに」を開催中です。この度、同展覧会参加アーティストの一人である潘逸舟（はん・いしゆ）氏による中高生向けのトークイベントを下記の通り開催いたします

潘氏は上海生まれで9歳の時に家族で弘前市に移住し、青森山田高校を卒業しました。高校時代からアーティストを志しACACにもボランティアとして関わっており、高校卒業後東京芸術大学に進学、同大学院を修了。現在はアーティストとして活動し、数多くの展覧会に参加し注目を集めています。本イベントでは、青森で育った潘氏に自身の中高生時代のエピソードや現在出品中の作品についてなどお話いただきます。中高生みなさんが芸術に対する理解を深めると共に、10代の多感な時期を青森で過ごしたアーティストから現在の青森の子供達へ、エールを送るような機会となるでしょう。

本学の取り組みをぜひ多くの方に知っていただきたく報道機関の皆様にご参集いただき、ご取材いただけますようお願い申し上げます。

記

- 【開催日時】 2017年11月25日（土）9：30～12：00
【会場】 国際芸術センター青森 展示棟 AV ルーム、ギャラリー
【タイムスケジュール】
9：30 生徒さん ACAC に到着
9：45 AV ルームにてトーク開始
11：00 トーク終了、ギャラリーで作品鑑賞
12：00 終了、解散

【参加校】青森東高校美術部、青森市立南中学校美術部、青森市立筒井中学校美術部、合計 20 名程度

※潘逸舟氏の略歴は2枚目をご参照ください。

【取材申込・お問合せ先】

青森公立大学国際芸術センター青森

学芸員 金子由紀子

TEL 017-764-5200 FAX 017-764-5201

E-mail kaneko@acac-aomori.jp

潘逸舟（はん・いしゆ）

1987年上海生まれ、9歳の時に弘前市に移住。青森山田高校卒業、現在東京在住。
2012年東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻終了

<近年の主な個展>

2017年 「私たちの条件」 URANO、東京
2017年 「The Drifting Thinker」 MoCA パビリオン、上海、中国
2016年 「雲の下で」 広島芸術センター、広島
2015年 「隣り合う記憶」 international studio & curatorial program、ニューヨーク、米国
2012年 「海の形」 京都芸術センター ギャラリー北、京都
2005年 「INTERVAL」 空間実験室スペース A、青森
2005年 「1300000000の星」 青森県弘前市野外、青森
2005年 「Lonely Island」 弘前市立百石町展示館、青森
2004年 「HUMANITY」 空間実験室スペース B、青森

<近年の主なグループ展>

2017年 「渋谷自在」 トーキョーワンダーサイト渋谷、東京
2017年 「ESCAPE from the SEA」 National Visual Arts Gallery (NVAG)、マレーシア
2016年 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」 ジャパンソサエティ、NY/ソサイエティテキサスセンター、テキサス、米国
2016年 「Sights and Sounds: Highlights」 ジューイッシュ・ミュージアム、NY、米国
2015年 「対馬アートファンタジア」 対馬市元対馬市立久田小学校内院分校、長崎
2014年 「東アジアの夢」 BankART1929、横浜
2013年 「在地未来」 何香凝美術館、中国
2012年 「第16回 文化庁メディア芸術祭」 国立新美術館、東京

<受賞>

2014年 Asia Cultural Council (ACC) グランティーマン
2014年 準グランプリ (Tokyo Designers Week 2014 Asia Award)
2013年 新鋭賞 (「在地未来」 何香凝美術館、中国にて)

10月28日に開催した展覧会オープニングトークの様子

